

認知症研究開発事業
平成 28 年度事後評価

1. 事後評価の趣旨

事後評価は、研究開発の実施状況、研究開発成果等を明らかにし、今後の研究開発成果等の展開及び事業運営の改善に資することを目的として実施する。

2. 事後評価委員会

開催日：平成 28 年 12 月 15 日

3. 事後評価対象課題

(別紙) 事後評価対象課題一覧参照。

4. 評価項目

- ・ 研究開発達成状況
- ・ 研究開発成果
- ・ 実施体制
- ・ 今後の見通し
- ・ 事業で定める事項及び総合的に勘案すべき項目
- ・ 総合評価

以上

平成 28 年度事後評価対象課題一覧（平成 28 年度終了課題）

※平成 29 年 3 月末時点の情報

| 開始年度 | 終了年度 | 研究開発担当者 | 機関名 | 研究開発課題名 |
|------|------|---------|-----------------|---|
| H26 | H28 | 田原 康玄 | 京都大学 | オミックス解析による認知症の原因究明と予防開発のための大規模コホート研究 |
| H26 | H28 | 辻 省次 | 東京大学 | 認知症の根本的な原因の解明を目指したコホート研究と網羅的ゲノム配列解析研究(代表) |
| H26 | H28 | 池内 健 | 新潟大学 | 認知症の根本的な原因の解明を目指したコホート研究と網羅的ゲノム配列解析研究(分担) |
| H26 | H28 | 森 啓 | 大阪市立大学 | 家族性アルツハイマー病に関する縦断的観察コホート研究 |
| H26 | H28 | 川端 健二 | 医薬基盤・健康・栄養研究所 | 神経エネルギー代謝の改善を指標とした認知症根本治療効果を発揮する生薬エキスの網羅的評価 |
| H26 | H28 | 井手 友美 | 九州大学 | 認知症と心血管病の改善を図る迷走神経刺激効果を有する簡易トレーニングプログラムの開発とメカニズムの解明 |
| H26 | H28 | 本田 学 | 国立精神・神経医療研究センター | 音響情報を用いた認知症行動・心理症状に対する新規非薬物療法の開発 |
| H26 | H28 | 数井 裕光 | 大阪大学 | ICT を利用した認知症ケアのための情報収集・蓄積とグッドプラクティス自動抽出システムの開発と検証研究 |
| H26 | H28 | 小熊 祐子 | 慶應義塾大学 | 身体活動コミュニティワイドキャンペーンを通じた認知症予防介入方法の開発 |
| H26 | H28 | 田原 康玄 | 京都大学 | オミックス解析による認知症の原因究明と予防開発のための大規模コホート研究 |